

令和 6 年度 政策討論会 第一分科会（第 3 回）要点記録

- ・日時 令和 6 年 9 月 27 日（金）
- ・場所 第 1 委員会室
- ・会議時間 10：00～11：16
- ・出席者 昼馬 光一（座長）
岩崎 雅秋（副座長）
橘川 亜紀
高比良 正明
烏野 隆生
西田 武史
松本 妙子
岸田 厚（座長、副座長以下は議席番号順）

テーマ：観光資源を活用した観光客の取り込みについて

1、内容

理事者を招へいし、本市の観光の現状について、本市の現状や課題の説明を受けた。また、その説明に対し質疑の時間を設けた。その後、分科会の方向性について話し合い、次回、観光資源を活用している他市の先進事例を持ち寄り、議論することになった。

2、各議員の発言要旨

- ・本市の観光行政についての課題は、だんじり祭り以外は単発イベントばかりで、名物イベントが乏しい点であり、また現状の単発イベントにおいても PR（情報発信）が欠けている。（西田議員）
- ・当局からの回答において、令和 6 年度に主要なターゲットとして首都圏、愛知県とピンポイントの地域を指定しているが、その地域に向けて特別な岸和田市の観光の案内などをする計画になっているのか尋ねたが、そのようになっていない。岸和田の観光資源とは何か、何に光を当てて観光客の誘致を目指すのか。そこが明確にならないと、観光客は呼び込めない。（岸田議員）
- ・「本町の紀州街道沿いに空家があると思うが民泊なり土産ものの店等に有効活用のお話をしているのか」との問いかけに対し、周辺では 2 軒の民泊があり更に活用方法を話し合っていていくとありました。また、食に関して今回は桃であったが、イチゴやブドウのイベントも今後考えられると思う。（岩崎副座長）
- ・本市観光でもっとも著名なものはだんじり祭りである。よって、それと親和性の高い観光資源を創り出すことが観光客誘致について有用であると考え。（例えば、カンクン

やイビサ島のようなラテン系の体験) 音楽を利用したイベントは各地でも行われていて、高槻市ではジャズを利用したイベントや商店街づくりが行われており、これを本市に当てはめればレゲエとなる。雑誌「Meets Regional」では、漫画「ザ・ファブル」で描かれる街！漫画家・南勝久先生たちに聞いた岸和田の話。と紹介されている。このような市外の人々のイメージに則る形で、リトルハマイカのような場所を創り出し、賑わいの場を創造してはどうか。(高比良議員)

- ・ 私は岸和田地車祭りは日本一、いや世界一と思っている。何故かというスリルがあるからです。外部にはただ激しさだけが伝わっていますが、町会が自主運営・自主管理・自主責任でおこなっているのだと正しい地車祭りの知識を伝える必要があると思う。岸和田の観光を発展させる為に必要だと思う。(昼馬座長)
- ・ 「復興天守 70 周年」記念行事はどれも魅力的なコンテンツであり、パッケージ化して今後も定期的に開催されるべきと思う。また、「大人向け」や「ファミリー向け」といった区分けを行うべき。今後の進め方については、我々が新たに観光資源を発掘するのではなく、現状の市の取組の中で課題と考えられる点を挙げ、他市の事例を参考にしながら提言を行うのがいいのではないか。理事者の説明やこの場での意見を踏まえる限り、本市の観光の目玉はやはりだんじり祭りであり、これをさらに活用することが重要である。また、祭り以外の期間における観光資源の充実も大きな課題である。(橘川議員)
- ・ 岸和田市の観光資源として、岸和田だんじり祭りに関連する取組みで観光客を誘致する、例えば、常駐で彫物師にての実演やミニ地車を引く体験型、法被の貸衣装による写真撮影を地車に関わる観光資源として考える。(烏野議員)

3、次回の予定

日時：10月15日(火)10時～

場所：第二委員会室

内容：観光資源を活用した先進事例を持ち寄り意見交換する。